



日本共産党 北区議会議員

No.20 2021.3月号

せいの恵子区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com>  mail@keiko-seino.com

ご相談は
お気軽に

070-3531-0812

議会質問が予算化へ 一歩前進！！

今回示された令和3年度予算案の概要では、私が議員1年目に初質問で取り上げた精神障害者への地域移行支援が、「措置入院者への退院後支援の開始」として事業化されました。

- 内容 措置入院者が退院後に地域生活へ円滑に移行できるように、医療機関と区の精神保健福祉士が連携。本人の意向を確認しながら、家族・他職種の専門家や医療機関・精神保健福祉士が支援チームを編成して退院後の地域生活に移行するための支援に取り組みます。

また、議会質問で継続して取り組んできたひきこもり支援では、ひきこもりについて悩んでいる本人や家族がより良い支援をみつけるきっかけづくりとして、北区と民間団体の連携で無料相談会が行われることになりました。

- 北区ひきこもり相談会

日時:3月18日(木) 10:00~16:00 場所:岸町ふれあい館 5階集会室 主催:北区
事前申し込み制 2月22日(月) 9時~電話受付開始 先着順



当日は健康推進課・障害福祉課・北区くらしとしごと相談センターのほか、協力アドバイザーとして不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」のメンバーが対応してくれます。

この間取り組んできた課題が、少しずつ前進してきました。これからも頑張ります!!

北区文教子ども委員会 少人数学級を求める陳情について

3月1日に行われた文教子ども委員会で、北区の小・中学校全学年で少人数学級を少しでも早く実現するよう、東京都と国に対する意見書の提出を要望する趣旨の「子ども一人ひとりを大切にする少人数学級実現を求める意見書提出に関する件」が陳情され審議されました。

国は40年ぶりに学級編制の標準を改定し、5年間かけて小学校を35人学級にします。少人数学級は、子どもたちへの手厚い教育と、感染症に強い学校を求める多くの人々の願いであり、全国知事会も求めてきた要求でもあります。これまでの40人学級から小学校全学年で35人学級となることは、少人数学級として一歩前進ですが、コロナ禍の今こそ、1年でも早く全学年で35人学級を実現するよう、最大限努めるべきではないでしょうか。

私は日本共産党北区議員団を代表して、①感染症に強い学校環境整備②諸外国と比べての日本の学級規模の大きすぎる③教職員の負担の軽減④子どもたちへのきめ細かいケアの必要性の4点から採択を主張しました。

しかし…自民党・公明党・都民ファーストが不採択。立憲民主党が継続を主張し、結果、不採択となりました。とても残念ですが、これからも声を上げた皆さんとともに取り組んでいきます。



2月20日「北区都議補選ポスターから考えるジェンダー学習会 第2回」をオンラインで開催しました。講師の太田啓子弁護士は、性差別・性暴力をなくすために様々な問題と向き合ってきた方。話題の本『これからの男の子たちへ』の著者でもあります。

昨年の北区都議補選ポスターについては、公職選挙法上は問題がないとはいえ、公共の場所等において、見たくない人も見ざるを得ない強制ポルノ視聴になるなどの、問題が指摘されました。

そして、『これからの男の子たちへ』を教科書に日本の性差別構造の問題を学び合いました。今の社会構造として、圧倒的に男性はマジョリティ（多数者）で女性はマイノリティ（少数者）。男性社会の中で「男らしさ」が当然視されたり、無自覚のうちに「男らしく」なるように仕向けられたりすることが暴力や性差別言動につながったりします。男性というマジョリティとしての特権を持っていることを自覚し、性差別、性暴力に抗う人になってほしいと。

そのためには、性差別や女性蔑視をおかしいと思う社会通念を作らなければならない。まずはこれからの男の子たちへ、人権や多様性を含んだ包括的性教育を学び、性暴力が人を傷つけることを知ることが重要。と太田さんは語ります。

本を読み、話をお聞きして、自分の中にも根深くあるジェンダーバイアスに気づかされます。私も常に学び直していかなければなりません。



日によって気温
差が大きいこの
季節。体調管理
に気を付けて！

